

2025～26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL: <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email: katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川 博則 ■幹事 辻 利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会

会長メッセージ

～ 縁（えにし）
を継なぐ ～

第3099回 例会 （11月4日）

●会長スピーチ

会長 滝川 博則



皆さん、こんにちは。今週、旭町で熊の騒動がありました。全国ニュースにも取り上げられ、県外の知人からも「大丈夫か」とお見舞いの電話をいただきました。

幸い大きな被害はありませんでしたが、連日の熊出没や被害報道を聞くと、改めて自然との距離の近さ、そして地域の安全を守る大切さを感じます。どうか皆さんも引き続き十分に気を付けてください。

さて、11月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団は、世界中で教育・医療・平和活動などに支援を行う、ロータリーの中心的な活動のひとつです。

私たちの寄付や支援が、遠くの国でのポリオ根絶や、地域での青少年育成事業につながっています。

財団の理念は、「世界で良いことをしよう」というロータリーの原点そのものです。新入会員の皆さんにも、ぜひこの機会に財団の仕組みや意義を知っていただき、活動への理解を深めていただければと思います。

以上、今月も安全に、そして奉仕の心をもって活動していきましょう。

連絡事項

○11月6日(木) 荒土小学校にて理科研究の金賞受賞者へメダルの贈呈を行います。

○本日より2週間、27-28年度会長立候補者の受付をいたします。

●幹事報告

幹事 辻 利津子

◆到着物

○かつやまっ子応援ニュース 青少年育成勝山市民会議

●委員会報告

●親睦ロータリー家族委員会 幅田 浩二

クリスマス家族例会について

日程：12月21日（日）ランチタイム。
ご家族の多数参加をお待ちしております。
再来週の11月18日（火）例会までに会費を添えて申込してください。

●奉仕プロジェクト

小林 達治

11月16日に「市民活動ネットワークまつり」が開催されます。土曜に準備、日曜に販売・提供です。お手伝いいただける方を募集します。

●SAA

織田 昌弘

来週は8日IMの振替で休会となります。
今回の例会は11月18日です。

●出席報告

山内 智子

11月4日	欠席5名	76.19%
10月28日	欠席4名	80.95%

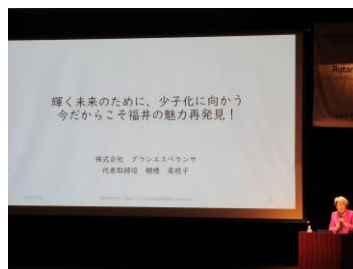
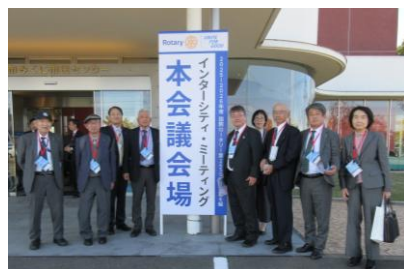
●ニコニコ報告

笠松 誠一

辻利津子
鷲田政憲・中道直司
田中三津彦
山本泰司



第3100回 例会 （11月8日） インターシティーミーティング



本日 プログラム	ゲスト卓話 福大医学部 酒井氏	11月25日 プログラム	ゲスト卓話 勝山消防署	12月2日 プログラム	総会	12月9日 プログラム	会員卓話
-------------	--------------------	-----------------	----------------	----------------	----	----------------	------

会員卓話

ボーズマンサンライズRC訪問 報告会

鷲田智則さん



父と二人三脚でこの交流を続けてまいりまして、およそ10年。今回ようやく『実』を結ぶことができたという、そんな感慨深い思いでおります。

さて、今回の旅程運営では、道に迷ったり、時間が遅れたり、あるいは怪我や病気があったりというリスクを徹底的に避けることに注力いたしました。結果として、大きなトラブルもなく無事に遂行できたことに、心から安堵しております。

野球観戦では、残念ながら大谷選手が出場されないという予想外のことはございました。しかし、ボーズマンの皆様の歓迎が本当に手厚く、全体としては大変良い結果になったと総括しております。

今後は、我々自身やボーズマン側のメンバーの高齢化も視野に入れまして、交流を新たな局面へと進め、さらに新しい価値を創出していただく事を期待しております。ありがとうございました。

滝川博則会長



9月27日、私たちはシアトルに入り、早速メジャーリーグ観戦へと向かいました。

試合前、市街はドジャースファンで大変な盛り上がりでした。私も、鷲田さんの手助けのおかげで、ドジャースファンの方と一緒に記念撮影をさせていただきました。

アメリカの応援スタイルは、日本のように統一された応援歌中心ではなく、各自が自由に楽しんでいる様子が印象的でした。球場では、イチロー選手や大谷選手のユニフォームを着たファンを多数見かけました。

当日、残念ながら『大谷選手欠場』のニュースが入ってきまして、記念にその新聞も購入いたしました。試合自体はドジャースが勝利したのですが、翌日に大谷選手が55号ホームランを放ったと聞きました。観戦日に限って欠場だったのは少し心残りですが、結果的にドジャースはワールドシリーズで優勝しましたので、あの日は良い休日になったのではないかと思います。

今回の訪問が終わりではなく始まりです。和田会長エレクトとも話して新たな事業展開に持っていきたいと思っています。



斎藤清一郎会員

こちら、シアトルの夜の様子ですが、実は皆でパーティーで配布する『ハイチュウ』を袋詰めしている所です。全員分、一つ一つ準備いたしました。



ボーズマン空港に到着した時は本当に感激いたしました。たった11人程度の我々を、ホームステイ先の方々を含め30人近い会員の皆様が階段付近で出迎えてくださったんです。

モンタナ州立大学を訪問したり、郊外や牧場を巡ったりしましたが、どこへ行っても星条旗が常に掲げられているのが印象的でした。そして、まさに『ビッグスカイ』と呼ぶにふさわしい快晴の空に、心から感銘を受けました。

ボーズマンのロータリークラブの例会パーティーでは、私も皆様と一緒にダンスを楽しみました。



特に感謝申し上げたいのは、昨年勝山にお越しいただいたビリーさんとジョアンさんご夫妻です。ワシントンDCからわざわざ来てくださり、4日間、ホテルとレンタカーをご自身で手配され、私達夫婦を終始案内してくださいました。この厚意には本当に頭が下がる思いです。



旅の印象として、最も不便だったのはやはりウォシュレットの不在です。紙だけでは不便で、帰りの機内のウォシュレットには本当に安堵いたしました。

『失われた日本の30年』などと嘆きますが、ウォシュレットの普及だけは、日本の優位性だと改めて実感しました！

また、物価の高さや円安、日米間の賃金格差（向こうは平均年収1,000万円超で、日本は460万円程度という認識です）を目の当たりにし、日本の競争力低下を肌で感じました。

最後に、私の妻がホームステイ先で披露した日本舞踊の動画も好評で、良い文化交流になったことを付け加えておきます。



会員卓話

ボーズマンサンライズRC訪問 報告会

笠松誠一会員



シアトルでの野球観戦ですが、大谷選手不出場で最初は正直がっかりしました。実は、疲労もあって2回か3イニング目あたりはうとうとしてしまったのですが、中盤から試合の熱気や臨場感を肌で感じまして、終盤の7回、8回、9回と、ドジャースのブルペン陣が合計9連続三振を重ね、結果的に非常に良い試合を観ることができました。

それから、観客のほとんどがドジャースのユニフォームを着ていたの、ドジャースファンが多いのかと思いきや、実は地元のマリナーズファンが多数いるという文化的背景に気づきました。

スタジアムでは、座席の下や通路に、大袋のポテトチップスなどの食べ残しのゴミが大量に放置されていました。これには日本の後片付けの文化との大きな違いだと感じました。

物価の高さにも驚きました。コーラが約8ドル、ホットドッグが15ドル、これにチップが2ドルで、合計25ドルです。日本の売店でコーラが2ドル程度の感覚からすると、価格差にびっくりしました。

また、食事が非常にサイズが大きくて、大きなホットドッグを何度も提供されるのですが、食べきれない場面が多かったです。

シアトルからボーズマンへ移動し、空港のエスカレーターを降りた時、本当に感動しました。我々同行者11人に対して、ホームステイ先の方々を含め30人もの方々が出迎えてくださったんです。そこで、私のホームステイ先のビッキーさんと対面しました。



ホームステイでは、翻訳機を使いながら腹を割った話を重ねるうちに、多少のいら立ちは乗り越え、親交が深まったと思っています。詳細については、週報番外編をぜひじっくりお読みいただければと思います。



山内政司会員



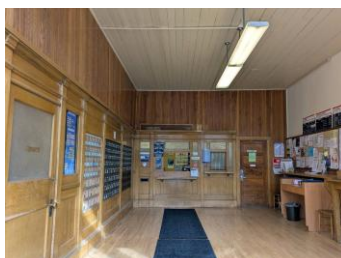
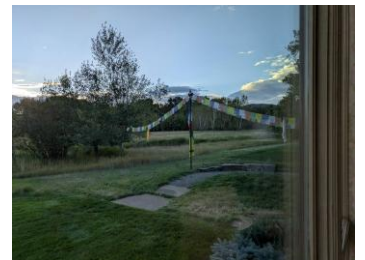
本日は、渡航前の話を少しさせていただきます。

出発の1週間前、19日のパーティーに参加したことが原因で、新型コロナに感染した可能性が出てきました。週明けに同行者に高熱が出たという情報が入り、メールで『10人ほどがコロナ陽性』という知らせを受けたんです。私自身は熱は出ませんでしたが、胸に少し痛みを感じていました。

火曜の夕方にその情報を受け、水曜に病院へ。出発まで3〜4日しかなかったため、とにかく薬の処方をお願いしました。検査後、救急で対応していただき、抗ウイルス薬を処方されましたが、これが高価でした。アレルギーや発疹・かゆみといった副作用の説明もありました。

水曜から木曜にかけて服用したところ、やはり発疹とかゆみが出ました。金曜の時点で、症状と副作用を比較検討し、医師と相談の上、抗ウイルス薬を中止いたしました。結局、解熱剤のみ携行して渡航を敢行したのです。

この感染の件は、会長には内々で報告させていただきましたが、週明けに数名の方とも接触しておりましたので、他者への感染拡大がないことを強く願っておりました。結果的に、皆様にご迷惑をおかけすることなく、無事渡航・帰国できたことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



会員卓話

ボーズマンサンライズRC訪問 報告会

鷲田政憲会員



2015年、辻会長、久保幹事、竹田国際奉仕、鷲田奉仕プロジェクトのとき、初めてモンタナ州5390地区ボーズマンサンライズRCとの交流が始まりました。

ロッキー博物館に関係あるロジャー・バーンズさんと10年目に初めて出会い、固い握手をしました。私も体が大きい方だと思っていましたが、ロジャーさんも大きな人でした。



先日ロジャーさんにお礼のメールをしたところ、返事のメールが来ましたのでご披露させていただきます。

親切で温かいメールをありがとうございます。ボーズマンへのご旅行の思い出が一気に蘇りました。ロッキー博物館の外で撮った二人の写真もありがとうございます。素敵な写真ですね！

約10年前に始まった私たちの友情から現在に至るまで、両クラブ、そして両都市の絆が強まっている様子を表す言葉があると思います。

「小さなどんぐりから大きな樫の木が育つ」
私たち二人が始めたことが今では多くの人に受け入れられていることに、私も感激しています。
近い将来、私たちの2つのクラブにとって、将来のロータリー財団補助金におけるパートナーシップがよい目標になるかもしれません。
心よりお祈り申し上げます。

私のホームステイ先は量子コンピューター販売をしている社長のお宅で、奥様は前会長でした。

大変立派なお宅でまるでホテルのように一階は写真のように吹き抜けで、大きな暖炉と天井には大きな天井扇があり、ソファはとてもふかふかで沈み込むような感じでした。

外には芝生が敷き詰められ、バーベキューがいつでもできるようにになっています。

私は2階の部屋で、部屋はとても清潔で、バス、トイレ付きで大きなベッドはこれもとてもふかふかでなかなか寝られませんでした。



一度床の上に布団を敷き寝ようとしたしましたが、寝られませんでした。

息子は地下の部屋で、同じくバス・トイレ付きで、ビリヤード台がありました。

朝食は奥様の手作りで、ラズベリーの果物やパンケーキに生クリームをのせ、シリアルの上に牛乳をかけ食べました。全て甘かったです。

とても親切にしてくださき、ホームステイは4泊しました。

今回のボーズマンとの交流について、参加するか否かをずっと悩み、2回ほど不参加にしようと思いましたが、滝川会長の強い勧めもあり、参加することにしました。足でまといにならないかと何度も心配しましたが、皆さんのお陰で無事に行って、帰ってこれたことに感謝いたしております。

向こうではアビーさんが最高のおもてなしをしてくださき、感動の連続でした。足の悪い私のために車椅子を用意してくださき、ロッキー博物館ではロジャーさんが車椅子を押してくださいました。

最後の日、アビーさん宅で行われた、さよならパーティーではそれぞれホームステイ先の会員様が各自料理を持ち寄り、パーティーすることを体験しました。アビーさんからは、日本の焼き鳥のときの調味料と、竹串を持ってきてほしいとのメールがあり、持っていました。九州で有名なマキシマムの調味料と、エバラの焼き鳥のたれを持っていきましたが、使い方を教えてあげなかったのが、マキシマムと焼き鳥のたれをいっしょにかけて、とても塩辛い焼き鳥になってしまいました。こんなパーティーのやり方があることを体験しました。



アビーさん宅のパーティーで、ロープマジックを2種類しました。私がよくやる宴会芸で、とても皆さんに喜んでいただきました。また機会があれば、勝山ロータリークラブでも皆さんの前でご披露したいと思います。

最後にボーズマンサンライズRCとの10年間の交流で、アメリカに行き大変有意義な日々で一生思い出にのこる体験をさせていただきましたこと、心より感謝しております。
ありがとうございました。

ロジャー・バーンズ氏から
頂いたサイン入りバンナー
ピンバッジが2個ついています

